

































つつヨーロッパへの自由通商路を確保しようとしているとみられる。

李克強國務院総理が、中国・EU首脳会議出席の折、行く先々で提起した「国際産能合作」は、「一帯一路」戦略の主旨であるコネクティビティ（主にインフラ建設）と密接に関わると考えられる。「国際産能合作」は、欧州向けだけのイニシアティブではないが、今後中欧の経済・産業協力、総じて、関係強化に大きく関わっているといえる。

中国-EU首脳会議、BRICS首脳会議、SCO首脳会議での中国の最大の収穫は、「一帯一路」戦略を大きくクローズアップさせたことにある。その意味で、「一帯一路」戦略は今後の

世界経済の新たな秩序形成に大きな一石を投じたといえよう。

注1：BRICS・FTAを想定していると考えられる（筆者）。

注2：中国は欧州戦略投資計画と結びつけて、インフラの共同整備で突破口を開くことを臨んでいる。EUが最近打ち出した総額3150億ユーロの欧州投資計画に参加したい。中国側は中国・EU共同投資基金の設立を積極的に検討し、欧州戦略投資基金に注力する（ブリュッセルでの中国・EUビジネスサミットでの李総理の基調講演での発言 6月29日）

注3：現在中国が締結しているFTAは14、これを2020年までに18以上にすると政府機関の研究報告がある。